

「図書館のまち阿南」構想の推進について

令和7年11月

阿南市教育委員会 図書館のまち推進室

目次

- I : 背景
- II : 「図書のみち阿南」構想とは
- III : 主な課題
- IV : 阿南中央図書館(仮称)の整備
- V : 那賀川・羽ノ浦両図書館の進化
- VI : 「あなん『読書テラス』ネットワーク」の構築
- VII : 「機能進化」と「財源確保」は並び立つものに
- VIII : 意見募集

I 背景

R5.10月
阿南市立新図書館基本計画

- 「市内全域」における
- ・子供たちの教育
 - ・市民の生涯にわたる学び
 - ・地域の活動を支える

そのために

図書館は
人やまちの新たな
可能性に寄与

具体化へ

R7.3月
阿南中央図書館(仮称)整備計画

阿南駅に近接する
「新図書館」

位置づけ

「市全体」の
中央図書館と
位置づけて整備

この機会を捉えて

R7.9月
「図書館のまち阿南」構想発表

阿南中央図書館(仮称)を核として

まちづくり

「市全域」において
市民が図書館に親しみ
学びあえるまちへ

※那賀川・羽ノ浦両
図書館は「既存建物」
を存続し、「新たな公
共空間」へ進化

Ⅱ 「図書のみち阿南」構想とは

目的

・市民の皆さまが培ってきた「阿南の図書文化」を進化させながら、将来世代に引き継いでいくこと

具現化策

・阿南中央図書館(仮称)を核として、那賀川図書館・羽ノ浦図書館はもとより、公民館や地元書店等と協働し、阿南市全域における「あなん『読書テラス』ネットワーク」を構築

イメージ図



Ⅲ 主な課題

1 公共施設の最適化

- ・「人口減少の進行」を見据えた「公共施設のあり方(施設数、規模等)」の検討が必要

2 図書館に関する「限られた資源」の有効活用

- ・ひと ⇒ 司書の配置のあり方
- ・モノ ⇒ 蔵書の整備のあり方
- ・情報 ⇒ ICT化の推進、電子書籍の更なる活用 などの検討が必要

3 図書館固有の課題

- ・市民の図書館貸出カード有効登録数は約15%⇒より多くの市民に利用される施設への進化が必要
- ・既存図書館の老朽化対策⇒30年経過により抜本的な長寿命化対策が不可欠

4 阿南中央図書館(仮称)建設費(約37億円)の財源確保

- ・国補助金や有利な地方債を活用することが不可欠
- ・「最大約27億円の国支援」が見込めることを市民にご理解いただくことが必要



知恵や工夫を持ち寄り、「課題解決」に向けた「見直し」や「進化」を検討

IV 阿南中央図書館(仮称)の整備

1 主なコンセプト ～「図書館のまち阿南」の核(中央テラス機能)として整備～

①まちづくりの拠点をつくる

- ・阿南駅前周辺まちづくりの一環として、新たな賑わい創出の拠点に

②多様な居場所をつくる

- ・ここに来るだけで様々な活動・人に出会える、あらゆる世代が活躍できる、多様な居場所に

③まちの資産をつくる

- ・環境性能に優れ、誰もが使いやすく維持管理しやすい、市民に永く愛される図書館に

2 主な財源

・国補助金:都市構造再編集集中支援事業

・地方債:公共施設等適正管理事業債

※要件:新しい施設が供用されてから、5年以内(または立地適正化計画に位置づけられている場合は10年以内)に、集約化・複合化の対象となった施設を「廃止」

⇒「廃止」について:ここでいう「廃止」とは、集約化・複合化の対象となった施設の「機能を廃止」することを意味している
よって、例えば機能を見直した上で、当該施設を貴重な資産として有効に活用することは認められている

V 那賀川・羽ノ浦両図書館の進化

1 両館がさしかかっている局面

- ・阿南中央図書館(仮称)の整備にあたり
⇒両館の役割をはじめ、「新たなあり方」を検討すべき局面
- ・両館の老朽化対策の計画を立てるにあたり
⇒ハード・ソフトの両面から今後のあり方を検討すべき局面

2 進化の基本方針



既存機能（那賀川・羽ノ浦両図書館）を進化させる「3つの観点」

①残す機能

- ・読書機能
- ・ブラウジング機能
(くつろぎの空間)

②見直す機能

- ・開架スペースの見直し
- ・お話しスペースや
自習スペースへの進化

③新規導入の機能

- ・多世代交流空間
- ・インドアパーク
(雨天時でも遊べる)

V 那賀川・羽ノ浦両図書館の進化

3-1 「残す機能」の事例

- ・読書機能
- ・ブラウジング機能
(くつろぎの空間)
- ・新聞・雑誌コーナー

読書機能→

↓新聞・雑誌コーナー



くつろぎの庭園
(阿波公方の苑)

→



V 那賀川・羽ノ浦両図書館の進化

3-2 「見直す機能」の事例

- ・開架スペースの見直し

これを通じて

- ・自習スペースの充実
- ・おはなしコーナーの利便性向上

開架スペース→

↓自習スペース



↑おはなしコーナー

V 那賀川・羽ノ浦両図書館の進化

3-3 「新たに導入する機能」の事例

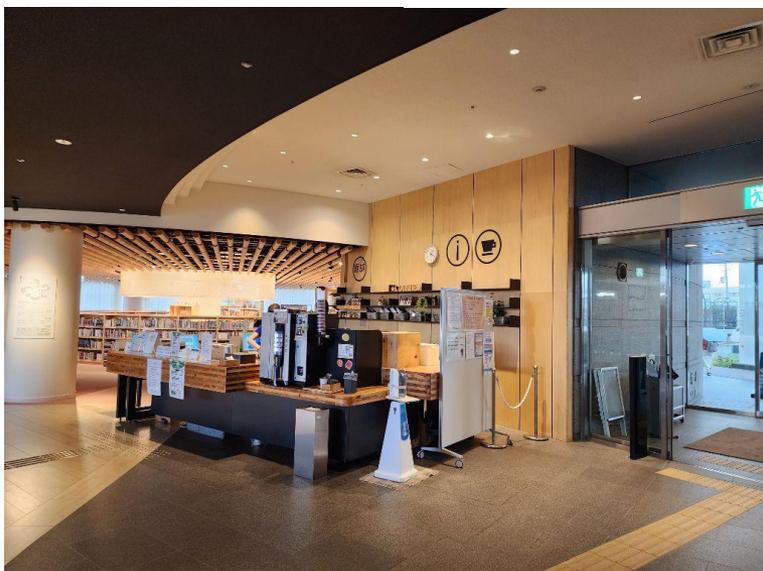
- ・多世代交流空間
- ・インドアパーク
(雨天時でも遊べる)

あやテラス→
(京都府綾部市)



↓守口市立図書館
(大阪府守口市)

互尊文庫(ミライエ長岡)↓
(新潟県長岡市)



ミライエ長岡HPより

VI 「あなん『読書テラス』ネットワーク」の構築

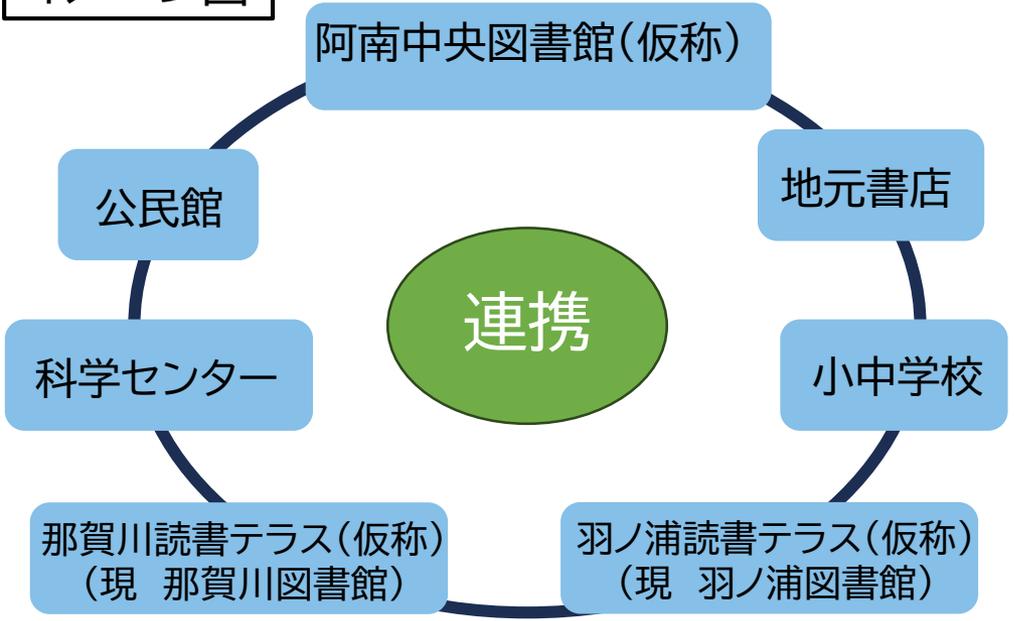
背景

阿南市立新図書館基本計画:新図書館が市内図書館や移動図書館車だけでなく、学校図書館、公民館、図書室など、図書に関する多様なサービスのネットワークを支援 (R5.10月)

読書テラスネットワークとは ~「図書のまち阿南」の具現化に向けて~

○阿南市全域において、市民がいつでも、誰でも気軽に集い、図書に親しみ学び合える「施設連携型のネットワーク」

イメージ図



各施設がそれぞれの工夫を凝らすことで

- ・市民がいつでも、誰でも気軽に集い
- ・図書に親しみ学びあえる

本市ならではのネットワークを構築

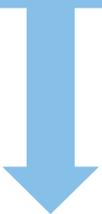
VII 「機能進化」と「財源確保」は並び立つものに

「図書館のまち阿南」の推進に向けて



「那賀川・羽ノ浦両図書館の進化」

「市の将来にとって有利な財源の確保」



「並び立つもの」とすることが不可欠



皆さまからいただいた知恵と工夫を市の取りまとめに反映してまいります

[IP](#) > [記事カテゴリ](#) > [分野](#) > [くらし・教育](#) > [生涯学習](#)

[IP](#) > [記事カテゴリ](#) > [属性](#) > [その他お知らせ](#)

[IP](#) > [組織](#) > [教育委員会](#) > [阿南市立図書館\(那賀川図書館\)](#)

「図書館のまち阿南」構想について皆さまのご意見を募集します

公開日 2025年09月26日

現在、事業推進中の「阿南中央図書館(仮称)」は、誰もが気軽に立ち寄り、思い思いに豊かな時間を過ごすことのできる、居心地のいい空間を提供するとともに、人々の出会いを創出する交流の拠点となるよう、令和12年度の供用開始をめざしています。

そこで、市民の皆さまが多くのご期待を寄せる「阿南中央図書館(仮称)」の整備が進むこの時を、絶好の機会と捉え、新たに「図書館のまち阿南」づくりを推進していきます。

市民の皆さまが培ってきた「阿南の図書文化」を進化させながら、将来世代へ引き継いでいくため、新設される阿南中央図書館(仮称)を核として、那賀川図書館・羽ノ浦図書館はもとより、公民館や地元書店等と協働し、阿南市全域において「あなん『読書テラス』ネットワーク」を構築することにより、多世代にわたる多くの市民が気軽に集い、図書に親しみ学び合えるような、魅力あふれるまちづくりをイメージしています。

■ ご意見を募集します

「広報あなん10月号」(P3)記載の「図書館のまち阿南」構想及び那賀川・羽ノ浦図書館の今後のあり方等について、市民の皆さまのご意見を募集します。市民の皆さまからのご意見をもとに、今年度中に市の具体案を取りまとめます。

■ 意見募集期間

令和7年10月1日(水)から令和7年11月30日(日)まで



ホームページ

ご静聴ありがとうございました

ご意見をよろしくお願い致します